

八匠水道企業団郵送・事後審査方式制限付一般競争入札要領

(目的)

第1条 八匠水道企業団の契約に係る郵便・事後審査方式制限付一般競争入札を行う場合における入札その他の取扱いについては、地方自治法（昭和22年法律第67号）その他の法令に定めるもののほか、この要領の定めるところによる。

(入札等)

第2条 入札参加者は、図面、仕様書、契約書案を熟覧のうえ、入札しなければならない。この場合において、図面、仕様書、契約書案等について疑義があるときは、関係職員の説明を求めることができる。

2 入札参加者は、入札書（入札約款別記第1号様式）を作成し、誓約書（入札約款別記第3号様式）とともに封筒に入れて、入札公告に示す提出期限までに指定郵送先に届くよう郵送しなければならない。

3 入札書及び誓約書（以下「入札書等」という。）は、別紙「入札書郵送用封筒の記載例」により郵送しなければならない。

4 郵送された入札書等は、いかなる理由があっても書換え、引換え又は撤回することができない。

(入札の辞退)

第3条 入札参加者は、入札を辞退するときは、入札執行前までに入札辞退届（入札約款別記第4号様式）を契約事務担当者に直接持参し、又は郵送（開札日の前日までに到着するものに限る。）して行う。

(入札の取りやめ等)

第4条 入札参加者が連合し、又は不穩の行動をなす等の場合において入札を公正に執行することができないと認められるときは、当該入札参加者を入札に参加させず又は入札の執行を延期し、若しくは取りやめることができる。

2 当該入札の公告後、天災等予測できない事情により、郵便が停滞し、入札の競争性、公平性を保つことが困難であると認められるときは、入札の執行を延期し、若しくは取りやめることができる。

(入札書等の不受理)

第5条 次の各号の一に該当する入札書等は受理しない。

- (1) 持参した入札書等
- (2) 提出期限を過ぎて届いた入札書等
- (3) 指定した郵送先以外に届いた入札書等
- (4) 指定した郵送方法以外の方法により届いた入札書等

(開札前に無効とする入札)

第6条 次の各号に該当する入札は無効とし、開札しない。

- (1) 一の入札につき複数の入札書を郵送した者の入札
- (2) 入札書を封かんした封筒に必要事項の記載がない入札
- (3) 所定の書類が同封されていない又は所定の書類に必要事項の記載がない入札
- (4) 資格要件を満たしていないことが明らかな者の入札

(開札)

第7条 入札執行者は、入札公告に示す日時及び場所において開札を行うものとする。

- 2 入札参加者は開札に立ち会わなければならない。
- 3 開札の立会いは、当該入札参加者のみ認めるものとする。
- 4 入札参加者は、代理人を開札に立ち合わせるときは、委任状を提出しなければならない。
- 5 開札の立会人が2人に満たないときは、当該入札事務に関係のない職員を立ち合わせるものとする。
- 6 入札執行者は、入札の執行を妨害する者があるときは、退室を命じることができるものとする。

(内訳書の提出)

第8条 契約担当者は、当該入札に係る事業の熟知の状況等積算能力の向上或いは談合その他不正行為の防止に資するため、入札参加者から内訳書の提出を求めることができる。この場合において、あらかじめ、当該入札に係る公告により明記し、その内容及び方法を周知するものとする。

- 2 内訳書を提出しない者がいるときは、その者のした入札を無効とする。また、提出された内訳書に不備が認められる場合は、当該内訳書を提出した者の入札を無効とする場合がある。

(無効となる入札)

第9条 次の各号の一に該当する入札書は無効とする。

- (1) 入札に参加する資格を有しない者のした入札
- (2) 入札書に記名・押印を欠く入札
- (3) 入札書の金額を訂正した入札
- (4) 入札書に誤字、脱字等があり意思表示が不明瞭である入札
- (5) 明らかに連合によると認められる入札
- (6) 複数の入札書を封かんした入札
- (7) その他入札に関する条件に違反した入札

(落札候補者の決定)

第10条 当該入札に最低制限価格を設けている場合は、開札結果に基づき、予定価格の範囲内で最低制限価格以上の価格をもって有効な入札をした者につき、最低価格を入札した者を落札候補者とし、以下低い価格で入札した者の順に次順位候補者とする。

2 当該入札に最低制限価格を設けていない場合は、開札結果に基づき、予定価格の範囲内で有効な入札をした者につき、最低価格を入札した者を落札候補者とし、以下低い価格で入札した者の順に次順位候補者とする。

3 落札候補者がいないときは、入札を不調とする。

(同価格の入札者が2人以上ある場合の落札候補者の決定)

第11条 開札の結果、落札候補者となるべき同価格の入札をした者が2人以上あるときは、速やかに当該入札者にくじを引かせ落札候補者を決定する。

(再度入札)

第12条 開札した場合において、各人の入札のうち予定価格の範囲内の価格の入札がないときは、直ちに再度入札を行う。この場合において、再度入札の回数は、原則として1回とする。ただし、再度入札を行う場合で、入札に立ち会わない者があるときは、再度入札を辞退したものとみなす。

2 再度入札に参加できる者は、1回目の入札に参加し有効な入札をした者でなければならない。ただし、最低制限価格を設けた入札においては、最低制限価格を下回る入札をした者は再度入札に参加できないものとする。

(落札候補者の資格確認及び落札決定)

第13条 落札候補者となった者は、制限付一般競争入札参加資格確認申請書(以下「申請書」という。)を契約担当者に提出し、入札参加資格の確認を受けなければならない。

2 落札候補者が提出期限までに申請書を提出しないとき又は入札参加資格を有しない者であることを確認したときは、当該候補者がした入札を無効とし、次順位候補者に申請書の提出を指示する。

3 前項の規定により入札参加資格を有しない旨の通知を受けた者は、通知を受けた日から3日以内(閉庁日を含まない。)に契約担当班統括に書面をもって理由の説明を求めることができるものとし、契約担当班統括は、書面を受理した日から3日以内(閉庁日を含まない。)に書面をもって回答するものとする。

4 前3項の規定は、次順位候補者に申請書の提出を指示した場合においても準用する。

5 申請書を提出した候補者が入札参加資格を有する者であることを確認した場合は、当該候補者を落札者と決定する。この場合において、すでに確認を行った者を除き、その他の候補者の資格確認は行わない。

(契約の締結)

第14条 落札者は、落札決定の日から7日以内に当該契約を締結しなければならない。

2 落札者は、前項に規定する期間内に契約をすることができない相当な理由がある場合は、契約担当班統括の承認を得て、この期間を延長することができる。

3 落札者は、前2項に規定する期間内に理由がなく当該契約を締結しないときは、落札は効力を失う。

(契約の保証)

第15条 工事又は製造等の請負契約に係る落札者は、当該契約の締結と同時に、次の各号の一に掲げる保証を付さなければならない。ただし、企業長が特にその必要がないと認めたときは、この限りでない。

- (1) 当該契約による債務の不履行により生ずる損害金の支払を保証する銀行、企業長が確実と認める金融機関又は保証事業会社（公共工事の前払金保証事業に関する法律（昭和27年法律第184号）第2条第4項に規定する保証事業会社をいう。）の保証
- (2) 当該契約による債務の履行を保証する公共工事履行保証証券による保証
- (3) 当該契約による債務の不履行により生ずる損害をてん補する履行保証保険契約の締結
- (4) 契約保証金の納付
- (5) 契約保証金に代わる担保となる有価証券の提供

2 前項の保証に係る契約保証金の額、保証金額又は保険金額は、請負代金の10分の1以上としなければならない。

3 第1項の規定により、落札者が同項第1号又は第5号に掲げる保証を付したときは、当該保証は契約保証金に代わる担保の提供として行われたものとし、同項第2号又は3号に掲げる保証を付したときは、契約保証金の納付を免除する。

(異議の申立)

第16条 入札をした者は、入札後、この図面、仕様書、契約書案等についての不明を理由として異議を申し立てることはできない。

附 則

この要領は、平成28年8月1日から施行する。

別紙1 入札書郵送用封筒の記載例

【表面】

4
0
1
2
9
8
2

匝瑳市生尾10番地

八匝水道企業団 総務班 行

切手

制限付一般競争入札 入札書 在中

朱書き

【裏面】

工 事 名	○○○○○○○工事
工 事 箇 所	○○○○○○○地先
開 札 日 時	○○○○年○月○日 午前○時○分

印

商号又は名称	(株)○○○○○
工 事 箇 所	○○○ ○○
差出人住所	○○○○○○○○○-○

封印(割印)
3箇所

封筒の規格	長型3号(120×235)
-------	---------------

- 《注意事項》
- 封筒表面の「制限付一般競争入札 入札書 在中」の文字は、朱書きをしてください。
 - 封筒は必ず、封かん(のり付け)、封印(割印)してください。
 - 印鑑は、使用印鑑として届出をした印鑑を使用してください。

